

令和5年度

事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ 基本理念

一隅を照らす

— 与えられた役割を担って、価値を認められしっかりと存在する —

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ 経営指針

利用者・家族に優しい施設を目指します

(すべてを含め、利用者、家族に優しい)

地域社会への貢献を目指します

(社会福祉法人に求められている一つに地域貢献があり、保育所や小中学校との連携)

施設の充実と発展をめざします

(施設とは、狭義では職員であり、職員の充実が施設の充実になる。職員間の連携を強化し技の向上等資質を高めていく)

平成17年1月4日 社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ
理事長 武政 茂子

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ サービス方針

■ 特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム

Sweet service (スウィート サービス)

(良きサービスは残しつつ、一歩先のやさしいサービスを提供します)

Heart to heart (ハート トゥ ハート)

(すべてのことに心のこもったサービスを提供します)

Home away from home (ホーム アウェイ フロム ホーム)

(第二の我が家のような居心地のよいサービスを提供します)

■ デイサービスセンター サムフォット

Service And Management For Old Timers

(齢を重ねゆく方々に心のこもったサービスと手助けを)

■ 居宅介護支援事業所 ポム

Peace Of Mind

(心からの安心をあなたに)

■ 在宅介護支援事業所 サイト

Settle In This Area

(住み慣れた地域で暮らす)

平成26年3月16日 社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ
理事長 武政 茂子

《 法 人 沿 革 》

平成 5 年 3 月 22 日	社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ設立認可
3 月 25 日	社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ設立登記
6 月 23 日	建物着工〔日本自転車振興会、高知県、高知市補助金〕 〔医療法人厚洋会寄付〕
平成 6 年 3 月 31 日	建物竣工
4 月 1 日	高知市在宅介護支援センターかもだ 事業開始 高知市ホームヘルパー 派遣事業開始 特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム 事業開始
6 月 1 日	ショートステイ 事業開始
7 月 1 日	デイサービスセンター サムフォット 事業開始
平成 8 年 4 月 1 日	『ホームヘルパーステーションかもだ』と名称変更
平成 9 年 4 月 1 日	デイサービスセンター サムフォットにてホリデイサービス開始
平成 11 年 7 月 31 日	高知市在宅介護支援センターかもだ 事業廃止
平成 12 年 3 月 31 日	高知市ホームヘルパー 派遣事業廃止
平成 12 年 4 月 1 日	介護保険施設として事業開始(3事業)
平成 18 年 4 月 1 日	介護予防サービス事業開始(介護予防通所介護、介護予防短期入所生活介護)
平成 24 年 3 月 1 日	特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム 増床 (特養30床・短期入所生活介護6床)
平成 24 年 6 月 1 日	居宅介護支援事業所 ポム 事業開始
平成 26 年 3 月 24 日	小規模多機能型居宅介護事業所 サイト 事業開始 デイサービスセンター サイト 事業開始 ショートステイセンター サイト 事業開始
平成 28 年 10 月 1 日	高知市介護予防・日常生活支援総合事業 事業開始(通所介護)

《 法 人 概 要 》

【 法 人 名 】	社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ
【 代 表 者 役 職 氏 名 】	理事長 武政 茂子
【 理 事 数 】	6名
【 監 事 数 】	2名
【 評 議 員 数 】	7名
【 事 務 所 の 所 在 地 】	〒780-8061 高知県高知市朝倉甲64番地1
【 電 話 番 号 】	088-840-7100(代表)
【 F A X 番 号 】	088-840-7480
【 事 業 の 名 称 ・ 種 類 】	特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム 介護老人福祉施設 短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護 デイサービスセンター サムフォット 通所介護 第1号通所事業 居宅介護支援事業所 ポム 居宅介護支援 小規模多機能型居宅介護事業所 サイト 小規模多機能型居宅介護 デイサービスセンター サイト 通所介護 第1号通所事業 ショートステイセンター サイト 基準該当短期入所生活介護 基準該当介護予防短期入所生活介護

1. 法人本部

重点目標

(1) 事業戦略会議の取り組みについて

令和5年10月より、事業戦略会議の名称を活動アップデートミーティングに変更した。事業戦略会議では、各部署の所属長が一堂に会し、稼働率や課題、その解決策等について協議していたが、活動アップデートミーティングでは、3部門（施設・在宅・総務）に分かれて、各部署の活動、進捗状況、課題、成果等について毎月意見交換を行っており、今まで以上に中身の濃い会議となっている。

(2) 各種委員会活動の取り組みについて

各委員会活動については定期的を開催し、その時々々の課題や問題について話し合いながら、課題解決に向けた取り組みを行った。各委員会主催の内部研修に関しては、集合研修や動画配信での研修を定期的で開催し、勤務等で参加できなかった職員に対しても資料配布・動画視聴等で周知を行った。

(3) 腰痛予防対策推進委員会（ノーリフティングケア）の取り組みについて

全体の委員会としては定期的には開催できたが、技術教育・個別アセスメント・環境調整・健康管理それぞれの担当者間での会の開催頻度は少なく、腰痛健康調査結果を上手く活かす事ができなかった。しかし、特養に関しては、それぞれのフロアにおいての課題を把握したうえで、福祉用具を活用しながら、ノーリフティングケアに取り組むことができた。今後は、委員会のあり方も見直ししながら、ノーリフティングケアが更に定着できるように取り組みを継続していくこととする。

(4) 人材の確保・定着に向けた取り組みについて

当法人の求人への応募者数は令和4年度の41名に対して、令和5年度も41名となり変化はみられなかった。応募者41名のうち実際に採用したのは23名で、採用率は56%であった。紹介料が発生する人材紹介会社を通じて採用したのは7名である。

退職者数は、令和4年度の18名に対して、令和5年度は24名で、増加した。退職理由で多かったのは、人間関係によるものと他施設等への転職であった。

これらの結果を分析し、今後の採用活動や離職防止に向けた取り組みに活かしていきたい。

(5) 職員の負担軽減・業務の効率化に関する取り組みについて

機器の使用や身体の使い方など、ノーリフティングケアを実践することで職員の負担軽減に繋がっているが、新たな機器や介護ロボットの導入はできなかった。ショート専用フロアにおいては、荷物チェックアプリを導入したことで、業務の効率化に繋がった。

(6) 教育体制の整備について

教育委員会において、新入職員や異動職員等の現状報告を行っていたが、下期は開催回数が減り、全体での共有は不十分となった。職員の教育・育成に関しては、統一基本ケア動画セミナーを継続して契約し、個々の知識向上・スキルアップに繋がられるようにした。内部研修においても、定期的に集合研修や動画配信での研修を実施した。勤務等で参加できなかった職員に対しても資料配布・動画視聴等で周知を行った。

(7) 異動の活性化について

本来、異動することでモチベーションの向上やスキルアップにつなげたいところだが、令和5年度に関しては、人員不足や働く環境等を理由とした異動となった傾向にある。しかし、異動したことによって前向きに働いている職員もいるため、異動に対して前向きに捉えてもらえるようにアプローチしていく。

(8) 感染症対策に関する取り組みについて

特養においては、新型コロナウイルス感染が2度（令和5年10月、令和6年2月）確認され、インフルエンザ感染症も発生した。他の事業所においても、新型コロナウイルスやインフルエンザに感染した利用者はいたが、今までの経験を活かした行動・対応ができたため、大きな混乱は生じなかった。特養併設のショートステイについては、新館1階をショートステイ専用フロアとしたことで、特養の感染者の影響を受けにくくなった。

(9) 非常災害対策に関する取り組みについて

B C P（事業継続計画）策定義務化を受けて、B C P策定委員会にて災害時対応や感染症対応などの対策を協議し、B C P（自然災害編・感染症編）を完成させた。また、令和5年度中に全職員がB C P机上型訓練に参加し、グループワーク等を通じて活発に意見交換を行った。

B C Pについては、より実践的なものにしていくため、今後も定期的に見直しを図っていく。また定期的に訓練を実施していくとともに、備蓄品の管理や、必要な物資等についても随時検討していくこととする。職員への連絡方法については、法人用の公式ラインを導入し、全職員に対しての迅速な連絡手段を確立することができた。

(10) 次期介護報酬改定に向けた取り組みについて

介護報酬改定に関する研修に積極的に参加し、職員間で情報共有を行った。また、令和6年4月からの介護報酬改定に合わせ3月30日に家族会を開催し、家族に改定内容を説明した。

今回の介護報酬改定では、医療と介護の連携の推進、感染症や災害への対応力向上、認知症の対応力向上などを軸とした改定が行われた。当法人としても、改定の趣旨に沿った対応を行っていく必要がある。

【 理事会開催状況 】

開催年月日	出席者数 ／定数	議 題	理 事 (欠席者氏名)	監事出席有無 (出席者氏名)
令和5年5月26日	5／6	第1号議案 令和4年度 事業報告について 第2号議案 令和4年度 決算報告について (監査報告) 第3号議案 新役員候補者の選任議案の決定について 第4号議案 評議員候補者の推薦について 第5号議案 定時評議員会の招集決定について 第6号議案 スウィート・ハート・ホーム ショートステイの運営について 第7号議案 本館3階静養室の改修について 第8号議案 土地賃貸借契約の更新について	小島 千賀	渡辺 泰方 橋本 誠
令和5年6月14日	5／6	第1号議案 理事長の選任について 第2号議案 業務執行理事の選任について 第3号議案 評議員選任・解任委員会の開催について	浜田 志津香	渡辺 泰方 橋本 誠
令和5年9月5日	5／6	第1号議案 新規事業について	今宮 晴久	橋本 誠
令和5年11月17日	6／6	第1号議案 令和5年度 第1回補正予算について 第2号議案 経理規程の変更について 第3号議案 評議員会の招集決定について 報告 執行状況について		渡辺 泰方 橋本 誠
令和6年3月18日	5／6	第1号議案 令和6年度 事業計画書について 第2号議案 令和5年度 第2回補正予算書について 第3号議案 令和6年度 当初予算書について 第4号議案 評議員会の招集決定について 報告 執行状況について	竹村 邦夫	橋本 誠

【 評議員会開催状況 】

開催年月日	出席者数 ／定数	議 題	評 議 員 (欠席者氏名)	理事・監事出席有無 (出席者氏名)
令和5年6月14日	4／7	第1号議案 令和4年度 決算報告について (監査報告) 第2号議案 新役員の選任について 第3号議案 スウィート・ハート・ホーム ショートステイの運営について 第4号議案 本館3階静養室の改修について 報告 1 令和4年度 事業報告について 報告 2 評議員候補者の推薦について 報告 3 土地賃貸借契約の更新について	濱宇津 邦子 津野 美保 原田 春芽	武政 茂子 犬丸 佐保 渡辺 泰方 橋本 誠
令和5年11月27日	5／7	第1号議案 令和5年度 第1回補正予算について 第2号議案 経理規程の変更について	濱宇津 邦子 公文 素子	武政 茂子 犬丸 佐保 渡辺 泰方 橋本 誠
令和6年3月27日	7／7	第1号議案 令和6年度 事業計画書について 第2号議案 令和5年度 第2回補正予算書について 第3号議案 令和6年度 当初予算書について		武政 茂子 渡辺 泰方 橋本 誠

【職員研修】(施設内)

実施年月		研修会名	研修内容	参加職種
令和5年	4月	職員説明会	令和5年度の目標等	全職種
	5月	非常食を使った炊き出し訓練	炊き出し訓練	全職種
	6月	接遇マナー研修	接遇マナーについて	全職種
		防災訓練	平日昼間想定訓練	全職種
		褥瘡対策委員会 全体研修	施設で取り組む褥瘡管理	全職種
	7月	感染対策委員会 全体研修	食中毒について	全職種
	10月	身体拘束廃止委員会 全体研修	虐待防止・身体拘束廃止について	全職種
		事故防止委員会 全体研修	転倒・転落	全職種
	11月	褥瘡対策委員会 全体研修	緊張亢進とポジショニング	全職種
	12月	防災訓練	夜間想定訓練	全職種
		感染対策委員会 全体研修	施設での標準予防策	全職種
	令和6年	2月	看取りケア委員会 全体研修	看取りケアについて
身体拘束廃止委員会 全体研修			不適切ケアと身体拘束廃止	全職種
BCP机上型訓練			災害発生を想定した訓練	全職員
3月		医療的ケア委員会 全体研修	医行為について(吸引)	介護職員
		事故防止委員会 全体研修	介護、看護ヒヤリハットの考え方・書き方について	全職種
		口腔衛生に関する研修	口腔衛生と誤嚥と食支援	全職種

合 計 16 回

【職員研修】(施設外)

実施月	開催場所	研修会名	研修内容	参加職種
4月	ふくし交流プラザ他	高知県カントリーミーティング	・講義・机上訓練 「BCP訓練～南海トラフ巨大地震発生版～」	生活相談員 介護主任 管理者 総務主任 総務
	高知市西部高齢者センター	西部ブロック会	令和4年度西部ブロック活動報告と令和5年度研修について	介護支援専門員
	高知市保健福祉センター	令和5年度定期総会及び講演	「あたりまえの人たち」によって伝えたい、対人援助職の基本と矜持	介護支援専門員
	朝倉総合市民会館	4月 地域ケア会議	・事例検討 ・地域の課題と資源	介護支援専門員
	ZOOM	新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に向けた研修	・今後の法改正等について ・高知市保健所における新型コロナウイルス感染症対応について ・今後の療養者への対応について	介護支援専門員
	高知城ホール	令和5年度高知県福祉・介護職員合同入職式	・記念式典 ・新任職員研修 ・先輩職員との座談会	介護職員
	高知会館	令和5年度 高知県老人福祉施設協議会 総会	・行政説明 ・総会 ・研修会	施設長
5月	ZOOM	高知県社会福祉法人経営者協議会 令和5年度総会		理事長 施設長
	ポリテクセンター高知	医学の知識		介護職員
	オンライン	急変への気づきと対応	急変が起こる前からのご利用者の体調の変化や、急変時の観察の仕方、またスムーズに医療に繋ぐことができるよう急変対応マネージメントについて学ぶ	介護職員
	ふくし交流プラザ	第1回 中央Bブロック 栄養士勉強会	1. 新型コロナウイルス感染症の発生状況と対応について 2. 情報交換	管理栄養士
	オンデマンド配信	対人援助職に効く 心の免疫力を高めるワークショップ	〔令和5年度開催分〕 1. 怒りとうまくつきあう(アンガーマネジメント) 2. 問題を解決する力を養う(問題解決技法) 3. 今を十分に味わう力を育てる(マインドフルネス) 〔令和4年度開催分〕 1. 考えの幅をひろげる力を身につける(認知療法) 2. 角を立てずに言いたいことを言う力を身につける(アサーション) 3. 疲れた心と体を癒す力を身につける(リラクゼーション)	全職員
	ポリテクセンター高知	薬の知識		看護師
	西部健康福祉センター	5月 地域ケア会議	・事例検討 ・地域の課題と資源	介護支援専門員
	高知市西部高齢者センター	5月 西部ブロック研修会	スーパービジョンを学ぶ	介護支援専門員
	高知市保健福祉センター	高知市介護支援専門員キャリアラダーモデルに関する意見交換会	・高知市介護支援専門員キャリアラダー ・モデル作成の趣旨と活用方法について ・評価シートの記載について	介護支援専門員
	総合あんしんセンター	第1回 若年性認知症研修会	認知症のBPSD	介護支援専門員
	ふくし交流プラザ	地域包括支援センター職員初級研修Ⅱ	介護予防支援従事者研修会	介護支援専門員
6月	朝倉地域包括支援センター	6月 地域ケア会議	・事例検討 ・地域の課題と資源	介護支援専門員
	オンライン	リスクマネジメント	介護事故やトラブルを未然に防ぎ、被害を最小限に抑えるためのリスクマネジメントを知り、実際に起きてしまった事故やトラブルに対して対応できるよう、苦情の理解と対応について学ぶ	生活相談員
	オンライン	苦情の理解と対応		生活相談員
	高知市西部健康福祉センター	6月 西部ブロック研修会	高齢運停者の免許返納	介護支援専門員
7月	ふくし交流プラザ	中堅職員研修	1: 基軸科目の講義と演習 2: 基礎科目の講義と演習 3: 重点科目の講義と演習 4: 啓発科目の講義と演習 5: 行動指針の策定 6: キャリアデザインシートと行動計画の策定	介護職員
	ふくし交流プラザ	令和5年度高知県介護支援専門員更新(専門)研修【研修過程Ⅱ】	・介護保険制度お酔い地域包括ケアシステムの今後の展開 ・研修の目標、事例研修の視点及び演習シートの活用について ・入退院等における医療との連携に関する事例 ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 ・家族への支援の視点が必要な事例 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ・認知症に関する事例 ・状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	介護支援専門員

令和5年

	オンライン	「介護技術」 講義	利用者の尊厳を守りながら、適切なケアが提供できるように、【高齢者や障害者介護の基本・原則】を身につけるため、介護技術の目的と必要性、正しいケアの意味、身体の仕組み、不適切・適切なケアによる影響などケアの基本知識を座学を中心に学ぶ	介護職員
	鴨田地域包括支援センター	7月 地域ケア会議	・事例検討 ・地域の課題と資源	介護支援専門員
	ふくし交流プラザ	「介護技術」 実技	利用者の尊厳を守りながら、適切なケアが提供できるように、【高齢者や障害者介護の基本・原則】を身につけるため、介護技術の基本を実技で学ぶ	介護職員
	高知市西部健康福祉センター	7月 西部ブロック研修会	・キャリアラダーについて ・ノーリフティングについて	介護支援専門員
	動画視聴	介護保険事業者向け研修会	第1回 介護事故の防止などについて～与業事故～ 第2回 介護事故の防止などについて～転倒・転落～	全職員
	E-ラーニング	パーセルインデックス評価研修	LIFEを構築する各指標の理解促進のための研修の第1弾として、パーセルインデックスを行っている介護職員の方を対象として、施設・事業所内でのパーセルインデックスの評価の標準化を図る。パーセルインデックスの10項目について、事例を踏まえて実践的に学ぶことが可能。	LIFE確認担当者
8月	ふくし交流プラザ	視覚障害の理解と対応	視覚障害（見えない、見にくい）について正しく理解することで、ケアの質を高める	生活相談員
	高知市総合あんしんセンター	認知症ケア研修会	・認知症の基本的な病状理解と、症状が類似する病気との判別のポイント ・専門医を含めた他機関協働による認知症の人の在宅支援について ・認知症の人の意思決定支援について ・専門医としてケアマネージャー等の地域へ期待すること	介護支援専門員
	高知市西部健康福祉センター	8月 西部ブロック研修会	多職種連携 利用者、家族からのハラスメント対策について	介護支援専門員
	ふくし交流プラザ	初任者研修	1: 基軸科目の講義と演習 2: 基礎科目の講義と演習 3: 重点科目の講義と演習 4: 啓発科目の講義と演習 5: 行動指針の策定 6: キャリアデザインシートと行動計画の策定	介護職員
	高知県立県民文化センター	第70回四国老人福祉施設関係者研究大会	1日目 ・基調報告 ・講演Ⅰ「アフターコロナにおける介護福祉の今後の在り方について」 ・講演Ⅱ「私も幸せ みんなも幸せ」 2日目 ・研究部会	施設長 総務主任 管理栄養士 生活相談員 生活相談員
	web開催	生産性向上の取組に関する介護事業所向けビギナーセミナー	1: 介護現場の生産性向上における厚生労働省の取組等について 2: 「介護サービスの生産性向上の基本と取組のポイント」 3: 「介護現場の生産性向上の取組発表」 4: 「業務改善の一步を踏み出し、継続するために必要なこと」	
9月	ふくし交流プラザ	福祉サービス苦情解決セミナー	・事業報告 ・活動発表「各施設の苦情解決体制、対応について」 ・講義「日常の関わり方と苦情解決の基本と応用」	第三者委員
	リコージャパン高知支店	セミナー・ハンズオン・個別相談会	業務改善を実現できるツールKintoneの説明会	総務主任 総務
	オンライン	外国人材受け入れセミナー		施設長 介護主任 総務
10月	高知市西部健康福祉センター	10月 西部ブロック研修会	高齢者虐待について	介護支援専門員
	オンライン	介護者が受けるハラスメント	・ハラスメントとは ・ハラスメントのリスク要因 ・ハラスメント対策の必要性 等	介護職員
	オンライン	メンバーシップ基礎研修	利用者のニーズを実現するために欠かせない「チームアプローチ」について、その効果や連携の重要性など、基本的理解を深める	介護職員
	ZOOM	ケアプランデータ連携システム説明会	・介護現場における生産性の向上について ・ケアプランデータ連携システムの概要と機能 ・実用事例の紹介	管理者 介護支援専門員 総務
	オンデマンド配信	令和5年度介護人材定着研修（中堅介護職員向け）	採用した介護人材の早期離職を防ぎ、定着に向けた取り組みを断層的でグループワークを行い、求められる役割・期待を考えられる人材を育成する。今後リーダーとなる職員等に、グループワークでリーダーの立場を疑似体験してもらい、メンバーの期待を考え、自分の役割を把握するほか、メンバーへの伝えかたの理解を深める。	
	YouTube配信	令和5年度難病学習会	筋萎縮性側索硬化症	介護支援専門員
	鴨田地域包括支援センター	10月 地域ケア会議	・事例検討（自己主張が強く意見やアドバイスを受け入れない為、糖尿病が悪化するおそれがある支援2の男性）	介護支援専門員
	ZOOM	通所サービス事業所の屋外でのサービス提供等に関する研修会	通所サービス事業所の屋外でのサービス提供に関する考え方等	介護支援専門員 管理者 生活相談員
	オンライン	高知県COVID-19セミナー	講演Ⅰ「新型コロナウイルス治療薬適正使用における薬剤師の役割」 講演Ⅱ「新型コロナウイルス感染症診療」	管理者 看護師
11月	高知会館	高知市と高知県老人福祉施設協議会（高知市内施設）との意見交換会	今後の高齢者福祉施設施策を展開するために、介護現場からの忌憚のない意見や最近の情報を交換する	施設長

	ふくし交流プラザ	認知症の人への意思決定支援	認知症になっても自分の思いを伝えることをかなえる	介護支援専門員 介護職員	
	高知市保健福祉センター	高知市ケアマネジメント研修会	ケアマネジメントの質をあげる面接技法とは	介護支援専門員	
	高知市西部健康福祉センター	11月 西部ブロック会	高知市ほおつちよけんの取り組み	介護支援専門員	
	オンライン	介護者が受けるハラスメント	・ハラスメントとは ・ハラスメントのリスク要因 ・ハラスメント対策の必要性 等	介護職員	
	オンライン	姿勢不良改善セミナー	車いす上の不良姿勢 ワンポイントアドバイス	機能訓練指導員	
12月	ふくし交流プラザ	令和5年度 高知県老協JS次世代委員会 東・中央A・中央B合同ブロック勉強会	・介護現場における接遇研修 ～職員を意識を高める接遇教育～ ・グループワーク	介護リーダー 介護リーダー 総務主任	
	高知市西部健康福祉センター	12月 西部ブロック会	地域共生社会について	介護支援専門員	
	オンライン	地域包括ケア研修	家族介護を支える	介護支援専門員	
	オンライン	ケアマネジャーと地域医療連携室とのオンライン交流会	・面会体制の現在の状況(各医療機関ごと) ・情報提供の現在の方法(持参・FAXなど) ・退院後のフィードバック方法	管理者 介護支援専門員	
	高知会館	令和5年度高知県老人福祉施設協議会 機能訓練指導員・介護職員・看護職員合同研修会	・講演「職場におけるバウハラ・モラハラについて」 ・グループワーク(職種別) ・LIFE入力等に関する役割分担について ・コロナ5類後の対応について ・その他	看護主任	
令和6年	1月	高知市保健福祉センター	高知市ケアマネジメント研修	アセスメント方向上研修 ～その人らしい自立した生活を支援するために～	介護支援専門員
		中村地区建設協同組合会館	令和5年度高知県老協 事務職員研修会	・講演Ⅰ「電子帳簿保存法・インボイス制度(仮)」 ・講演Ⅱ「上手に使う助成金制度(仮)」 ・グループワーク	総務 総務主任
		ZOOM	高知県高齢者虐待防止・権利擁護研修	・行政説明「高知県における高齢者虐待の現状と課題」 ・高齢者虐待防止法と権利擁護 ・虐待防止法の基礎と概要理解 ・高齢者虐待防止に向けた具体的な取組 ～ケースをもとに考える～ ・運営基準改正に伴う組織としての取組 ・効果的な虐待防止委員会の運営と研修のあり方	介護支援専門員
		総合あんしんセンター	令和5年度 難病学習会	進行性核上性麻痺について	介護支援専門員
		リモート	仕事と介護の両立	オリジナルの介護体制づくり	介護支援専門員
		オンライン	Copilot for Microsoft 365を活用した新しい働き方	日本マイクロソフト×リコージャパンが提案する Copilot for Microsoft 365を活用した新しい働き方	総務
	2月	ふくし交流プラザ	令和6年度社会福祉施設総合保険制度説明会		管理者
		高知市文化プラザかるぼーと	地域支え合いフォーラム	認知症になっても安心していきたい場所へ外出できる街を目指して ～明日からできることを考える～	介護支援専門員
		高知市西部健康福祉センター	令和6年2月 西部ブロック会	独居高齢者のかかわり方について	介護支援専門員
		サ クラウンハレス新阪急高知	2024年 介護報酬改定セミナー		施設長 生活相談員 介護主任
	3月	ベルサール飯田橋ファースト	令和5年度 経営戦略セミナー	・基調報告 ・小規模特養の経営実態から見る特養の将来像 ・「処遇改善加算の一本化等」の詳細と対応方法について ・行政説明 ・介護保険部会と介護報酬改定について ・令和6年度介護報酬改定への対応 ～特養・ショート～ ・令和6年度介護報酬改定への対応～デイ～	業務執行理事
		高知市西部健康福祉センター	令和6年3月 西部ブロック会	・令和5年度西部ブロック活動報告 ・令和6年度西部ブロック活動予定 ・連絡事項 他	介護支援専門員
		総合あんしんセンター	難病学習会	心をつなぐ技術 意思伝達装置の使い方を学ぶ	介護支援専門員
	ソーレ	ミニ地域支えあいフォーラムin旭	ほおつちよかん朝日を目指して ～ ほおつちよけん相談窓口の現状と将来 ～	介護支援専門員 管理者	

2. 特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム

重点目標

(1) 目標稼働率 96% ⇒ 実績 92.7%

上半期の平均稼働率は95.0%、下半期は90.4%となり年間の稼働率目標を下回る結果となった。原因としては、令和5年8月以降想定外の急な退所者が相次いだことや、入院者が増加したことが挙げられる。また、近隣に新規オープンした有料老人ホームの影響と思われるが、新規入所申込者が急激に減少して調査対象者がいない状況が続く、入所優位者の確保に困難を要した。令和5年10月と令和6年2月に施設内で新型コロナウイルスの感染者が発生し、経過観察期間中のフロアについては新規入所者や退院者の受け入れができなかったことも稼働率に影響した。令和5年度はインフルエンザによる集団感染も発生し空床日数が増える原因となった。

令和4年度より実施している入所申込者の申込継続の意向確認は順調に実施できており、入所申込者の整理はスムーズに行っている。

(2) 入院者減少に向けて

令和5年度の入院者数は78名で、令和4年度の64名を上回ったが、平均入院日数は21日であり、令和4年度の28日より7日間短縮できた。新型コロナウイルス感染症の発生に加えて、ここ数年見られなかったインフルエンザ感染症も発生した。嘱託医と連携して早期に抗ウイルス薬を服用していただいたことで重症化を防ぐことはできたが、高齢者の身体への影響は大きく、予後が悪く入院や退所される方がいた。今後も入院者減少に向けて早期発見、感染拡大の予防に努めていく。また、誤嚥性肺炎や尿路感染症による入院者も増えてきているため、適切な口腔衛生管理や陰部洗浄を行っていく。

(3) 誤薬事故ゼロを目指すための取り組みについて

令和5年度の誤薬事故は6件（内ショートステイ利用者4件）で、令和4年度より増加した。誤薬事故は防ぐことのできる事故であるが、マニュアル通りに行動できていなかったり、確認不足によって発生している。命に関わる事故であるということを意識して決められた手順を遵守し、誤薬防止に努めていく。新人研修でも誤薬事故が起こった場合のリスクや対応等をしっかりと説明し、意識づけに努めていく。

(4) レクリエーション活動の充実について

入居者の介護度が高くなり、健康状態の安定を図ることを目的として午後から午睡する入居者が増えたこともあり、日々における活発なレクリエーションを実施することができなかった。

毎月の行事に関しては、行事委員会を中心に季節ごとの行事を立案し、新型コロナウイルスやインフルエンザが発生した時期もあったが、年間通して行事を実施することができた。気候の良い季節には、施設周辺の散策や買い物レクを実施し、外気に触れる喜びを感じてもらうこともできた。

(5) 認知症への対応力向上に向けた取り組みについて

令和 5 年度は職員不足もあって認知症介護実践研修やリーダー研修へ参加することができなかつたが、統一基本ケアセミナーの動画配信サービスを活用し、職員個々での学びの場を提供した。今後は、認知症の対応力向上に向け「認知症チーム推進研修」や「認知症介護実践研修」等に参加し、チームで認知症ケアに取り組んでいきたい。

(6) 自立支援、重度化防止の取り組みについて

新型コロナウイルスやインフルエンザに感染された入居者は体調の変化によって重度化が進んだように思われる。今後も入居者の体調の変化に留意したうえで、日々介護職や看護職、機能訓練指導員、管理栄養士とで連携を取りながら、身体機能の維持や重度化防止に取り組む。

サービス内容

(1) 食事

管理栄養士と介護職、看護職が食事委員会等で意見交換しながら、入居者の嗜好や嚥下状態に配慮した食事提供を行った。また、出前レクなどの行事を通じて食事を楽しんでもらえるよう取り組んだ。誕生日会においては、誕生月の入居者の器を豪華にし、赤飯やちらし寿司を提供するなど、見た目でもお祝いできるよう委託業者が工夫してくれている。

令和 5 年度は 2 名の入居者が入院中に胃瘻を造設された。退院後は、身体状況や体調に合わせて安全に栄養補給を行った。

(2) 入浴

入浴時には、皮膚状態の観察を行い、変化があれば看護職員へ報告し対応している。また、入浴後には軟膏塗布等の対応も行っている。新型コロナウイルスやインフルエンザ感染拡大時にも、週 2 回以上の入浴または清拭・更衣を実施し、清潔保持に努めた。

(3) 排泄

全入居者の排泄支援計画を作成し、取り組みを行っているが、自立までには至っていない。新規入居者で常時オムツを使用していた方は、可能な限りトイレ誘導を行って日中のトイレでの排泄を促し、紙カバーから紙パンツ、紙パンツから布パンツへ移行できるよう努めている。今後も、排泄支援計画に基づき、自立に向けた取り組みを行っていく。重度化が進みトイレでの排泄が困難になっている入居者に対しては、定時でのパッド交換を行い、陰部の清潔保持に努めた。

(4) 機能訓練

入居者の身体機能の維持を図るため、機能訓練指導員が個別の計画を作成し、その計画に基づいて機能訓練を実施している。日常生活においても、排泄時の立位、移乗時の立位等、残存機能を活かした支援を行った。

(5) 健康管理

新型コロナウイルス感染症は5類に変更となったが、強い感染力は変わらず、引き続きワクチン接種や日々の基本的な感染防止対策を行い、入居者及び職員の感染を防止していく。

入居者の褥瘡が増加傾向にあるため、各職種との連携を図り、褥瘡の改善、減少に努めていく。

(6) 看取りケア

令和5年度の看取り者は7名であった。看取り開始翌日に亡くなられた方、看取り開始から3年近く経て亡くなられた方など、様々な看取りとなった。看取りケア開始時、入居者、家族の意向はそれぞれであるため、その意向を最大限に尊重し、人生の最期を迎えるまでの期間を安心、安全、安楽に過ごして頂けるよう、気持ちに寄り添った専門的ケアを提供していく。

令和5年度加算取得一覧表

スウィート・ハート・ホーム

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
日常生活継続 支援加算	36	959	27,150	93%	10,512,000	9,774,000	△ 738,000
個別機能訓練加算 Ⅰ	12	959	27,150	93%	3,504,000	3,258,000	△ 246,000
個別機能訓練加算 Ⅱ	20 /月	959	27,150	100%	192,000	191,800	△ 200
夜勤職員配置加算	16	959	27,150	93%	4,672,000	4,344,000	△ 328,000
看護体制加算 Ⅰ	4	959	27,150	93%	1,168,000	1,086,000	△ 82,000
看護体制加算 Ⅱ	8	959	27,150	93%	2,336,000	2,172,000	△ 164,000
生活機能向上 連携加算	100 /月	959		100%	960,000	959,000	△ 1,000
科学的介護 加算Ⅱ	50 /月	959		100%	480,000	479,500	△ 500
口腔衛生管理 体制加算	110 /月	0		0%	1,056,000	0	△ 1,056,000
再入所時栄養 連携加算	200 /回				0	0	
看取り体制加算 (死亡日)	1,280	4			51,200	51,200	
看取り体制加算 (2~3日)	680	8			54,400	54,400	
看取り体制加算 (4~30日)	144	78			112,320	112,320	
看取り体制加算 (31~45日)	72	26			18,720	18,720	
療養食加算	6 /食	140	12,050		723,000	723,000	
初期加算	30	161	1,150	※2	345,000	345,000	
入院・外泊時費用	246	79	431		1,060,260	1,060,260	
安全対策体制加算	20 /回	36			7,200	7,200	
褥瘡マネジメント加算Ⅰ	3 /月	27			810	810	
褥瘡マネジメント加算Ⅱ	13 /月	930			120,900	120,900	
排泄支援加算Ⅰ	10 /月	827			82,700	82,700	
排泄支援加算Ⅱ	15 /月	94			14,100	14,100	
排泄支援加算Ⅲ	20 /月	36			7,200	7,200	
					27,477,810	24,862,110	△ 2,615,700

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【日常生活動作】

在籍者数 80名

(令和6年3月31日)

項目	介護状況	入居者実数	構成比	備考
歩行	自立歩行	1	1.3%	
	歩行補助器(手引き)	7	8.8%	
	車椅子	72	90.0%	
食事	自力摂取	35	43.8%	
	一部介助	13	16.3%	
	全介助	32	40.0%	
入浴	自立	0	0.0%	
	一部介助	27	33.8%	
	全介助	53	66.3%	
排泄	自立	1	1.3%	
	一部介助	28	35.0%	
	全介助	51	63.8%	
更衣	自立	1	1.3%	
	一部介助	31	38.8%	
	全介助	48	60.0%	
整容	自立	9	11.3%	
	一部介助	24	30.0%	
	全介助	47	58.8%	
意思疎通	自立	31	38.8%	
	一部介助	31	38.8%	
	全介助	18	22.5%	

【行事实績】

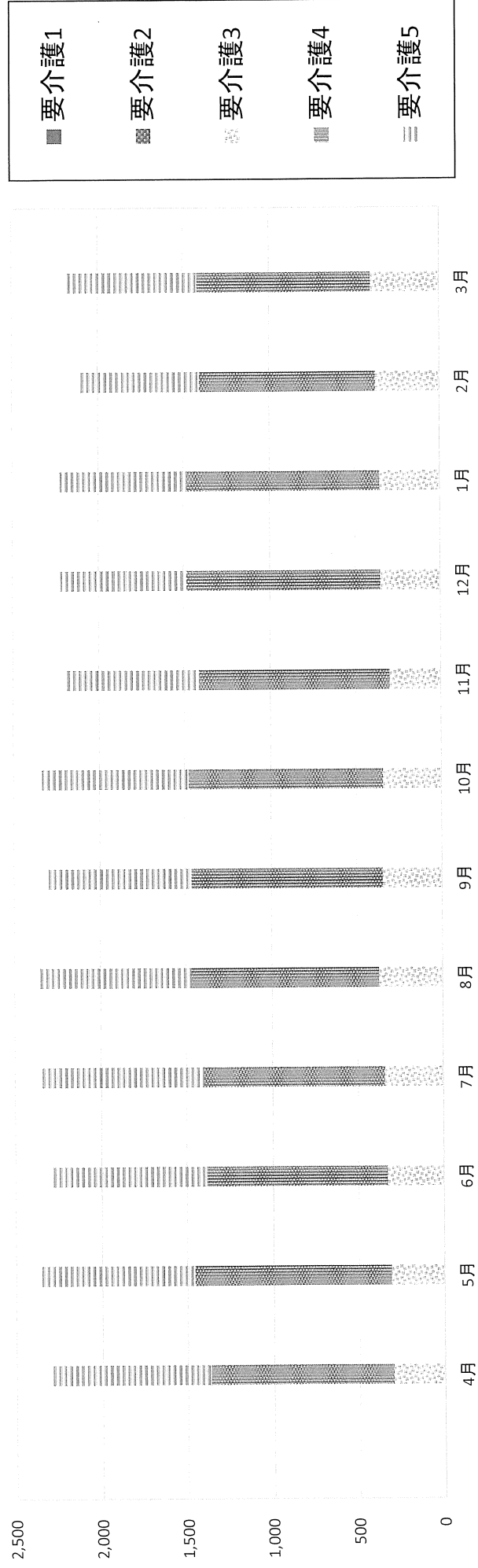
(S-ショートステイ利用者数)

実施年月		行事名	参加入居者数	内容
令和5年	4月	生け花	21名(S-6名)	4月12日
		スウィート・カフェ	82名(S-15名)	4月26日
	5月	出前レク	70名(S-6名)	5月17日、24日
		生け花	9名(S-5名)	5月24日
		スウィート・カフェ	78名(S-10名)	5月31日
	6月	生け花	36名(S-7名)	6月14日
		おやつレク	83名(S-12名)	6月21日
		スウィート・カフェ	78名(S-10名)	6月28日
	7月	生け花	16名(S-2名)	7月12日
		夏祭り(各フロアにて)	86名(S-13名)	7月12日、29日、26日
	8月	暑中見舞いハガキ作成	77名(S-3名)	8月1日~8日
		生け花	17名(S-10名)	8月9日
		スイカ割り	62名(S-10名)	8月23日
	9月	生け花	20名(S-7名)	9月13日
		敬老会	88名(S-14名)	9月20日、28日
		スウィート・カフェ	84名(S-12名)	9月27日
	10月	おやつレク	57名(S-14名)	10月11日
		生け花	5名(S-5名)	10月12日
		スウィートカフェ	85名(S-15名)	10月25日
	11月	握り寿司実演	86名(S-15名)	11月13日、20日
生け花		27名(S-5名)	11月22日	
12月	クリスマス会	84名(S-13名)	12月18日	
	年賀状作り	78名(S-4名)	12月25日頃まで	
	生け花	10名(S-6名)	12月27日	
令和6年	1月	お正月デイ	174名(S-46名)	1月1日~7日
		生け花	16名(S-4名)	1月31日
	2月	節分(豆まき)	74名(S-13名)	3月7日
		ケーキバイキング	79名(S-13名)	2月14日
		生け花	23名(S-6名)	2月28日
	3月	生け花	23名(S-6名)	3月13日
		散策	9名(S-0名)	3月27日、28日、29日
		スウィート・カフェ	81名(S-13名)	3月29日

【入居者構成表】

	要介護度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
		実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数		
入 所 者 合 計	要介護1																												
	要介護2																												
	要介護3	10	300	10	310	11	330	11	341	12	372	12	347	12	341	12	300	11	300	12	350	13	353	13	376	13	403	140	4,123
	要介護4	39	1,065	40	1,146	37	1,052	37	1,054	37	1,096	42	1,115	41	1,136	41	1,111	42	1,111	41	1,134	41	1,128	40	1,028	42	1,014	479	13,079
	要介護5	33	925	32	896	33	898	33	947	31	882	30	838	30	859	30	772	29	772	30	739	26	743	28	693	28	756	363	9,948
合計	82	2,290	82	2,352	81	2,280	81	2,342	80	2,350	84	2,300	83	2,336	83	2,183	82	2,183	83	2,223	80	2,224	81	2,097	83	2,173	982	27,150	

令和5年度 入居者構成表



【各種構成指標】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計／平均
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
平均要介護度	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.22
1日平均入居者数	76.3	75.9	76.0	75.5	75.8	76.7	75.4	72.8	71.7	71.7	72.3	70.1	74.2
満床率	95.4%	94.9%	95.0%	94.4%	94.8%	95.9%	94.3%	91.0%	89.6%	89.6%	90.4%	87.6%	92.7%

【保険者別入居者数】

(令和6年3月31日)

	高知市	いの町	土佐市	四万十町	香美市	合計
利用者数	71	2	3	1	1	78

【男女構成】

(毎月1日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
男性	15	15	16	16	15	13	13	13	13	11	10	10	160
女性	65	66	67	64	61	58	57	54	52	49	47	46	686

【年齢構成】

(令和6年3月31日)

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計	平均	最低年齢	最高年齢
男性		1	1	1	8	4		2		17	84歳	68歳	96歳
女性		1	2	8	6	17	14	8	5	61	88歳	66歳	102歳
合計	0	2	3	9	14	21	14	10	5	78	87歳		

【利用者負担段階】

(毎月実人数算定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
第1段階	8	8	8	8	8	7	6	7	7	6	5	6	84
第2段階	12	13	13	13	12	14	14	15	17	17	16	15	171
第3段階①	15	16	16	16	17	19	17	17	15	15	15	15	193
第3段階②	16	16	16	15	14	14	16	14	14	14	15	16	180
第4段階	31	29	28	29	29	30	30	29	30	28	30	31	354
合計	82	82	81	81	80	84	83	82	83	80	81	83	982

【入居者】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護1	男												0
	女												0
要介護2	男												0
	女												0
要介護3	男												0
	女								2	1	1		4
要介護4	男	1				1				1			3
	女	1	1		1	4	3	2	3		2	3	20
要介護5	男			1			1				2		4
	女		1			1			1			2	5
合計	2	2	1	1	0	6	4	2	6	2	5	5	36

【退居者】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護1	男												0
	女												0
要介護2	男												0
	女												0
要介護3	男							1					2
	女												0
要介護4	男							1				1	2
	女	1	1	1		3	2	2	1	2	1	2	16
要介護5	男	1							2	1	1		5
	女		1		1	2	1	1	2		1		11
合計	2	2	1	1	2	5	3	5	5	4	3	3	36

3. 短期入所生活介護 / 介護予防短期入所生活介護

重点目標

(1) 目標稼働率 85% ⇒ 実績 86.5%

新館1階をショートステイ専用フロアとしたことで、令和5年度は新型コロナウイルス等の感染症の影響が少なくなった。月単位で見ると目標を達成できなかった月もあったが、大きく稼働を落とした月はなく、年間を通して稼働率が安定していた。これらのことが、目標稼働率達成の要因と考えられる。今後も目標稼働率の達成を目指して新規利用者の獲得とリピート率の向上に努めていく。

(2) 稼働率向上に関する取り組みについて

送迎時や担当者会等で聞いた情報を職員に伝達するなど、利用者一人ひとりのニーズ・ケア内容を職員間で共有し、適切なサービス提供に努めた。また、ショートステイ利用中の利用者の様子を家族や関係機関へ伝達することで信頼関係の構築が図れ、新規利用者の獲得やリピート利用に繋がった。

(3) レクリエーション活動の充実について

ショートステイ専用フロアとしたことで、利用者同士の交流が増え、日々の生活やレクリエーションを活性化することができた。職員と一緒に制作等も行い、自身の作品を見て喜ばれる利用者もいた。長期利用されている方に関しては、入居者と同様に、暑中見舞いや年賀状を一緒に作成し、家族に送付した。

(4) 個別機能訓練の実施について

ショートステイの機能訓練指導員として理学療法士を配置していることで、利用者の機能維持・向上に取り組んでいる。配置前は家族や関係機関から、ショートステイ利用後には身体的な機能が低下していると言われることもあったが、専属の機能訓練指導員配置後は、ADLが向上したとの話が聞かれるようになり、利用者や家族、関係機関の評価が上がってきている。

サービス内容

利用者が在宅にて快適な日常生活を送るために、必要な個別機能訓練の実施や日常生活動作についてのアドバイスなど、多職種が連携し支援した。送迎では送迎車への移動・昇降を含め安全に対応することができ、利用者・家族の希望に添った取り組みができた。今後は今まで以上に充実したサービス提供に努めていく。

令和5年度加算取得一覧表

スウィート・ハート・ホーム ショートステイ

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
機能訓練 体制加算	12	564	5,045	86%	700,800	605,400	△ 95,400
夜勤職員 配置加算Ⅲ	15	564	5,045	86%	876,000	756,750	△ 119,250
サービス提供 体制加算Ⅰ	22	564	5,045	86%	1,284,800	1,109,900	△ 174,900
個別機能訓練 加算	56	501	2,788	69%	※3 2,257,920	1,561,280	△ 696,640
緊急受入加算	90	1	4	} ※2	3,600	3,600	
送迎加算	184	445	1,258		2,314,720	2,314,720	
長期利用者 提供減算	△ 30	56	1,460		△ 438,000	△ 438,000	
					6,999,840	5,913,650	△ 1,086,190

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

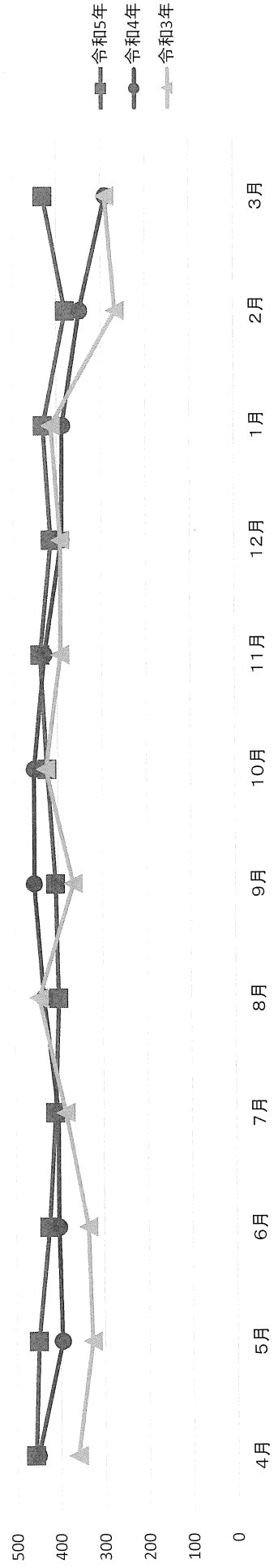
※3 個別機能訓練加算は、機能訓練指導員が勤務した日に加算算定するものである。
取得率は勤務日数での割合となっている。

【ショートステイ利用者構成表】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均		
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	
介																											
要支援1																											
要支援2							1	6	1	4					1	2					1	5	1	1	1	8	26
要介護1	6	57	10	110	7	50	5	39	7	44	8	57	7	71	9	91	7	78	5	74	6	61	4	58	81	790	
要介護2	15	90	13	103	14	102	11	84	6	72	8	73	11	79	8	85	12	87	13	107	11	84	16	114	138	1,080	
要介護3	10	80	7	62	8	52	9	56	8	55	8	74	11	95	13	104	15	121	13	125	13	125	14	116	129	1,065	
要介護4	17	201	15	162	15	171	13	174	11	178	13	170	15	135	12	116	11	110	9	105	9	98	10	112	150	1,732	
要介護5	7	30	3	13	6	49	9	50	8	47	7	32	7	44	6	41	5	18	3	15	1	11	4	22	66	372	
合計	55	458	48	450	50	424	48	409	41	400	44	406	51	424	49	439	50	414	44	431	41	380	49	430	570	5,065	
平均要介護度	3.1		2.7		3.2		3.4		3.3		3.1		3.2		2.8		2.8		2.7		2.7		2.8		2.8		2.9

事業日数	30	31	30	31	31	30	30	31	31	31	30	30	31	31	30	31	31	29	31	31	29	31	31	366
1日平均利用者数	15.3	14.5	14.1	13.2	12.9	13.5	13.7	13.7	14.6	13.9	13.9	13.4	13.7	14.6	14.6	13.4	13.9	13.1	13.9	13.9	13.1	13.9	13.9	13.8
満床率	95.4%	90.7%	88.3%	82.5%	80.6%	84.6%	85.5%	85.5%	91.5%	86.9%	86.9%	83.5%	85.5%	91.5%	91.5%	83.5%	86.9%	81.9%	86.7%	86.7%	81.9%	86.7%	86.7%	86.5%

ショートステイ利用者 延人数推移



4. デイサービスセンター サムフォット(通所介護 / 第1号通所事業)

重点目標

- (1) 目標稼働率 80% ⇒ 実績70.9%

新規利用者を獲得するために困難事例の受け入れを積極的に行い、新規開拓も行ったが、老々介護やキーパーソンの介護力不足で在宅生活の継続が難しくなり施設入所された方や、持病の悪化等で入院または死亡された方が相次いだ。また、ショートステイの利用やコロナ感染の影響もあって稼働率が上がらず目標を達成することができなかった。今後も他事業所にはないサムフォットの強みをアピールしていくとともに、引き続き困難事例の積極的な受け入れを行い、実績を作っていく。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

年間を通じ、居宅ケアマネへの電話連絡時には空き情報を伝えるなどして営業活動を行った。見学者の受け入れについては、依頼があった際には感染対策を徹底したうえで受け入れを行い、ほとんどがサービス利用につながった。利用者の重度化防止については、利用者の体調の変化に留意しつつ早期発見、早期対応を心掛けたが、新規受け入れ時より重度化している利用者が多く、入所された方や死亡された方が新規利用者と同じくらいでってしまった。引き続き、職員間で連携して可能な限りの対応を行い、重度化防止に努めていく。

- (3) 利用者満足度の向上について

サービス利用時には、利用者と積極的にコミュニケーションを取り、信頼関係の構築に努めた。また、レクリエーションがマンネリ化しないよう工夫することで、利用者を楽しんでもらえた。家族に対しては、送迎時や電話連絡の際に、利用中の状態や自宅での変化などの情報交換を行った。サービス利用中に家族の急な用事等が入った場合には、急遽夕食サービスやショートステイ利用に切り替えるなど柔軟に対応し、家族のニーズに則したサービスが提供できるよう努めた。

- (4) 夕食サービスの送迎と自宅での支援について

家族の帰宅時間に合わせた送迎や、個別ニーズに応じた対応を行った。夕食サービスの利用者ではない方についても、要望があればケアマネージャーと相談して対応している。また、職員の勤務時間帯の変更なども行った。

サービス内容

- (1) 食事

嚥下機能が低下している利用者が安全に食事摂取できるように、管理栄養士と連携しながら刻み食、一口大など、利用者個々の状態に合わせた食事提供を行った。主食がご飯ではなくパンが好みの利用者にはパンの提供も行った。胃瘻の方についても、食べることを忘れて欲しくないという家族からの希望があり、無理のない範囲で口から摂取していただくようにした。また、出前レクやおやつ時には、利用者自身が作ったものを食べるおやつレク等を行い、食事を楽しんでもらえた。

(2) 入浴

利用者一人ひとりの介助内容や体調、状態に合わせて特浴、一般浴の使い分けを行い、安全に配慮したうえで入浴サービスを提供した。入浴時には全身状態を観察し、身体の変化や、外傷の有無等の早期発見に努め、家族や関係機関と情報を共有した。冬至の時には風習に倣ってゆず風呂にするなど、利用者に季節を感じてもらえるよう工夫した。また、医療的処置が必要な利用者が増えたため、看護師の入浴支援も取り入れた。

(3) 排泄

排泄チェック表を活用して利用者個々の排泄パターンを把握し、パットの吸収量に尿量が合っているか等を家族に伝えるよう心掛けた。また、排便チェックを行い、主治医の指示のもと、薬の調整や摘便処置等、排便コントロールに努めた。自宅ではベッド上だけで排泄支援を行っている利用者にも、トイレで排泄できるようにとトイレでの排泄支援を行った。

(4) 機能訓練

身体機能の維持向上を目的とし、利用者が楽しみながら継続できるレクリエーションに取り組んだ。また、歩行訓練や上肢の訓練時間を作り、利用者個々のペースや体調に合わせた訓練を行った。下半期には他事業所よりマシーンを借り、利用できる方にはマシーンでの訓練を実施した。余暇時間には個別に認知機能に働きかける脳トレや、手先の訓練、生活リハビリで洗濯物を畳んでもらうなど、活動的に過ごしていただけるよう努めた。

(5) 健康状態の確認

送迎時の家族とのコミュニケーションや連絡帳に関しては介護職、体温・血圧・脈の測定や、服薬管理、身体管理に関しては看護師が中心となり、介護、看護が連携しながら利用者の健康状態の把握に努めた。また、必要に応じて家族、主治医と連絡を取り、指示に基づいた対応を行った。感染症については、インフルエンザを発症された方はいなかったが、新型コロナウイルスに感染された方は数名いた。

(6) 送迎サービス

利用者の身体状況を踏まえたうえで、できるだけ家族の要望に沿った運行計画書を作成した。利用者の状態により送迎車両の変更や、火元、荷物、服薬、施錠確認を行い、利用者及び家族が安心してサービスを利用できている。歩行状態が悪い利用者には施設の車椅子を貸出すなどの支援を行った。また、感染を持ち込まないようにするため、迎え時に自宅での検温を実施した。

令和5年度加算取得一覧表

サムフォット

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
中重度者ケア 体制加算	45	464	5,067	66%	3,476,250	2,280,150	△ 1,196,100
サービス提供 体制加算Ⅱ	18	467	5,375	70%	1,390,500	967,500	△ 423,000
入浴加算	40	439	4,244	55%	3,090,000	1,697,600	△ 1,392,400
科学的介護 加算	40	467	467	} ※2	186,800	186,800	
認知症加算	60	125	1,423		853,800	853,800	
送迎減算	△ 47	55	82		△ 38,540	△ 38,540	
					8,958,810	5,947,310	△ 3,011,500

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

(日曜日、年末年始は閉所のため、開所日の309日で計算している。25名定員)

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【年齢構成】（介護予防含）

（令和6年3月31日）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	計	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男			2	4	7	4	4	1	22	83歳	70歳	95歳
女			2	3	3	6	5	5	24	87歳	72歳	98歳
計	0	0	4	7	10	10	9	6	46	85.3歳		

【行事实績】

実施年月	行事名	内容	
令和5年	4月	お花見レク	壁や窓に花を作る
		輪投げ、釣りレク	机や床に点数を書いた魚を並べ竿で釣る
		喫茶・誕生会	
		ミュージックレク、音楽レク	楽器を使い身体を動かす、歌集使用し歌う
	5月	運動会クイズ・こいのぼり運動会	
		回想レク	アーカイブ映像を視聴し問題を出す。
		喫茶・誕生会、	
		ミュージックレク、音楽レク	楽器や歌集を使用し体を動かす
	6月	防災レク	防災に関するクイズ
		回想レク、スクリーンレク	アーカイブ映像を視聴し問題を出す。
		喫茶・誕生会、出前レク	外食の雰囲気を楽しむ
		ミュージックレク、音楽レク	楽器や歌集を使用し体を動かす
		輪抜けレク	輪抜けの雰囲気を楽しんでもらう
	7月	短冊作り、短冊飾り	短冊記入、笹に飾り付け
		ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
		喫茶・誕生会	
		出前レク	外食気分を楽しむ
	8月	魚釣り	机や床に点数を書いた魚を並べ竿で釣る
		読み聞かせ	
		ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
喫茶・誕生会			
	夏祭り	季節行事を楽しんでもらう	

令和5年	9月	おせんべいレク	並べた紙のせんべいの早やとり
		釣りゲーム	床に並べた魚を竿で釣り上げる
		喫茶・誕生会	
		喫茶・誕生会・敬老会	季節行事を楽しむ
		ビデオレク	季節行事のビデオ鑑賞
	10月	カードレク	あいうえおカードで言葉を作る
		ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
		読み聞かせ・運動会	
		喫茶・誕生会	
		言葉遊びレク	カードを使用し言葉を作る
	11月	言葉遊びレク	カードを使用し言葉を作る
		回想レク	アーカイブ映像を視聴し問題を出す。
		喫茶・誕生会	
		握りずし実演、読み聞かせ	
		魚釣りゲーム	床に並べた魚を竿で釣り上げる
	12月	魚釣りゲーム	床に並べた魚を竿で釣り上げる
ミュージックレク			
喫茶・誕生会、回想レク		アーカイブ映像を視聴し問題を出す。	
クリスマス会・正月準備		季節行事を楽しむ	
令和6年	1月	正月遊び	駒回し・福笑い
		初釜・書初め・硬筆	正月の雰囲気を感じてもらう
		喫茶・誕生会	
		ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
	2月	おやつレク・節分レク	節分ロールを作り季節を感じる
		回想レク	アーカイブ映像を視聴し問題を出す。
		喫茶・誕生会	
		ひな祭りレク準備	
	3月	カレー・すき焼き・チラシ寿司レク	家族を作り、カードを引いて目的の料理の具材を集める
		ひな祭りケーキバイキング	季節行事を楽しむ
		喫茶・誕生会、出前レク	外食気分を楽しむ
		せんべい・寿司・イチゴゲーム	

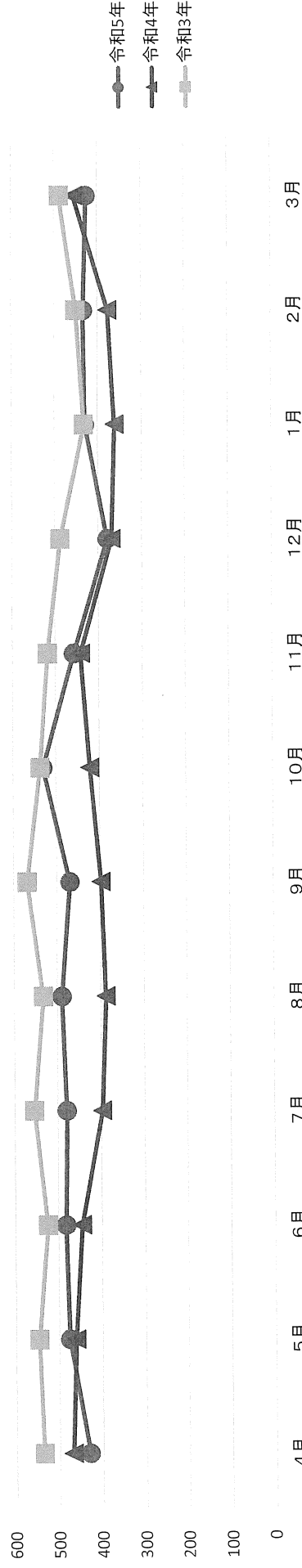
【ディスプレイサービスセンターサムソフト利用者構成表】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
要支援2	1	8	1	9	1	9	1	9	1	8	1	9	2	12	1	8	1	9	1	8	1	7	1	9	13	105
要介護1	9	126	10	131	10	127	10	105	11	134	10	120	11	130	9	114	8	89	8	103	8	104	8	94	112	1,377
要介護2	3	58	2	42	3	58	3	53	3	39	2	34	2	38	2	27	2	23	2	37	3	42	4	42	31	493
要介護3	9	101	10	100	8	89	9	93	10	106	14	145	16	183	14	153	13	111	13	138	12	132	11	115	139	1,466
要介護4	7	65	7	91	6	74	8	106	7	83	5	70	5	63	6	67	6	53	5	53	5	58	6	73	73	856
要介護5	6	72	10	102	12	125	11	113	12	119	9	91	9	104	8	89	8	94	9	91	8	90	10	93	112	1,183
合計	35	430	40	475	40	482	42	479	44	489	41	469	45	530	40	458	38	379	38	430	37	433	40	426	480	5,480
平均要介護度	2.7		3.0		3.0		3.1		3.0		3.0		3.0		3.0		3.1		3.0		3.0		3.0		3.0	3.0

その他(総合事業含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	25	24	25	25	26	26	24	25	25	26	26	309
1日平均利用者数	17.2	17.6	18.5	18.4	18.1	18.0	20.4	17.6	17.6	17.6	15.2	17.9	17.3	16.4	17.7	17.7	17.3	16.4	16.4	17.9	17.3	16.4	16.4	17.7	17.7
稼働率	68.8%	70.4%	74.2%	73.7%	72.4%	72.2%	81.5%	70.5%	70.5%	70.5%	60.6%	71.7%	69.3%	65.5%	70.9%	70.9%	69.3%	65.5%	65.5%	71.7%	69.3%	65.5%	65.5%	70.9%	70.9%

サムソフト利用者 延べ人数推移



5. 居宅介護支援事業所 ポム

重点目標

(1) 目標稼働率 80% ⇒ 82.7%

定期的に新規依頼があり、徐々に利用者を増やすことができた。ただ、職員3名での業務量としては限界に近いので、今後は介護支援専門員を3名から4名に増やす予定である。このまま新規依頼を受けながら4名になっても目標稼働率達成を目指していく。4名体制になると上位の特定事業所加算が算定できるので、これを目標に取り組みたい。

(2) 稼働率向上に関する取り組みについて

利用者や家族の置かれている環境や、サービスを利用する目的を十分理解して、求められるサービス内容と対応可能なサービス内容の調整を行い、安心・満足して在宅サービスを利用していただけるように支援した。利用者家族との対応や調整が次の依頼に繋がるように実績を重ねていきたい。

新規依頼は地域包括支援センターからの依頼が多いため、関連する地域包括支援センターとの連携やネットワークづくりの強化を図った。今後は、従来から関係のあった機関のみでなく、他の地域包括支援センターや医療機関等との関係性づくりを進めていきたい。

(3) 介護支援専門員の質の向上と公正中立性の確保について

地域の事業所やサービスについての情報を収集するとともに、事業所内にて週1回のミーティングを開催し、意見交換や事例検討会、研修報告などを行った。また、朝倉地区と鴨田地区の地域包括地域包括支援センターが実施する地域ケア会議にもほぼ毎月参加した。

事例検討会としては、事業所内での開催に加え、高知市居宅介護支援事業所協議会の開催する検討会にも参加した。主任介護支援専門員が3名となり、各職員がそれぞれのグループに属して定期的に別の事例について参加しスーパービジョンについて学んだ。

法人内部及び外部の研修にも積極的に参加した。外部研修としては、高知市や市協議会、その他団体の行う各種研修に参加し、専門知識の習得やアセスメントやケアマネジメント能力の向上に取り組んだ。

(4) 関係機関等との連携強化について

関連する地域包括支援センターとは、新規依頼やそのフィードバック、事例の相談や虐待の報告などを行った。地域会議を開催したケースもあり、今後も関係性を強く持っていきたい。

医療機関とは、主に入退院時の情報提供を中心として情報交換を行った。入院時の情報提供は、加算のあるなしに関わらず、全件に情報提供を行った。他にも病院でのカンファレンスや家庭訪問に参加し連携を図った。

(5) 特定事業所加算について

特定事業所加算の算定要件に必要な毎月の運営基準を厳守した。毎週の事業所内会議を定期開催すること、必要な研修として事業所内や法人内、外部の研修、他法人との事例検討会や地域ケア会議にも積極的に参加し要件を満たしてきた。

令和6年度より、新たに参加が必要な研修が追加されたため、もれなく参加できるように研修計画を立てる。また、現在取得している特定事業所加算Ⅲの上位である特定事業所加算Ⅱの要件が常勤職員の1名増であり、上位加算を取得することも視野に入れて取り組んでいく。

サービス内容

(1) 居宅介護サービス計画の作成

利用者の状況の変化に合わせて居宅サービス計画を作成し、利用者や家族に丁寧に説明を行った。また、利用者や家族の声に耳を傾け、ニーズを把握するよう心がけた。今後もニーズの発掘や目標設定等に繋がるよう、アセスメント能力の向上に努めるとともに、サービスの質や技術の向上にも取り組んでいく。

(2) 関係機関との連絡調整

サービス事業所と連絡を取り、介護サービス計画書や利用状況の確認、情報交換を行った。また、居宅サービス計画書や利用者・家族のニーズとサービス内容とにずれが生じていないかなど、利用者の状態にあった適切なサービスが提供されているかを定期的に確認した。介護保険サービス以外のサービスや制度の利用も提案し必要に応じてプランに取り入れた。

(3) ニーズ調査の為の訪問の実施

利用者の状態や生活状況及び目標に沿って適切にサービス提供されているかを確認するため、毎月1回は利用者の居宅に訪問しモニタリングを行った。利用者の状態や生活状況に変化があった場合は、居宅サービス計画書を変更した。また、必要に応じて営業時間外の対応や土日の訪問なども行った。

令和5年度加算取得一覧表

居宅 ポム

加算項目	単位	実人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
特定事業所 加算Ⅲ	309	915	79%	3,559,680	2,827,350	△ 732,330
初期加算	300	27	}		81,000	
通院時情報連 携加算	50	4			2,000	
退院・ 退所加算Ⅰ	450	22			99,000	
退院・ 退所加算Ⅱ	600	1		※2	6,000	
入院時情報 連携加算Ⅰ	200	30			60,000	
入院時情報 連携加算Ⅱ	100	6			6,000	
					3,559,680	3,081,350

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

ケアマネ3名配置（稼働率100%の場合）
一人当たりの利用者数 39名（内訳 介護32名、予防14名）

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【居宅介護支援事業利用者構成表】

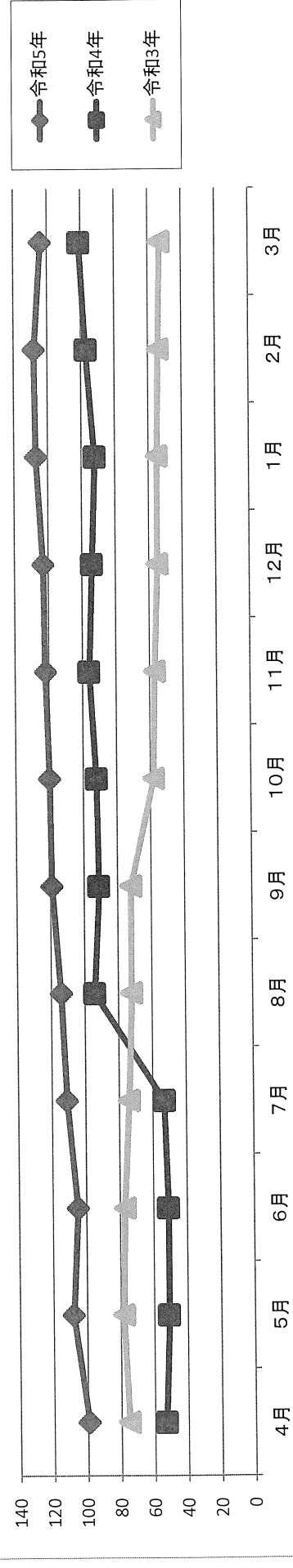
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計／平均
	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数
介護支援1	8	9	9	10	10	14	11	14	12	12	13	13	135
介護支援2	26	29	28	31	30	30	29	28	29	30	30	30	350
介護支援3	34	38	37	41	40	44	40	42	41	42	43	43	485
平均介護支援度	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7

介護支援1	27	30	29	29	27	29	34	35	39	40	41	39	399
介護支援2	22	23	23	26	29	28	31	27	26	27	25	25	312
介護支援3	10	10	9	8	10	10	7	9	9	10	12	11	115
介護支援4	6	7	6	6	7	6	5	5	5	5	4	4	66
介護支援5	0	0	1	1	1	2	3	4	3	3	3	2	23
合計	65	70	68	70	74	75	80	80	82	85	85	81	915
平均介護支援度	1.9	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.9

利用者計	99	108	105	111	114	119	120	122	123	127	128	124	1,400
------	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

利用率(上限39名/1人当)	70.0%	76.1%	74.4%	78.6%	80.3%	82.9%	85.5%	86.3%	88.0%	90.6%	91.5%	88.0%	82.7%
----------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

居宅介護支援利用者 延人数推移



6. 小規模多機能型居宅介護事業所 サイタ

(小規模多機能型居宅介護 / 介護予防小規模多機能型居宅介護)

重点目標

- (1) 目標稼働率 90% ⇒ 実績 80%

稼働率、収入ともに目標に届かず、収入に関しては大きくマイナスとなった。要因としては主に下半期の利用終了者に対して、速やかに新規利用者を獲得できなかったことが挙げられる。

- (2) 地域との連携に向けた取り組みについて

地域運営推進会議及び地域交流ルームで実施している百歳体操は定期開催できている。百歳体操に関して、参加を希望される小規模サイタの利用者については、地域住民の方と一緒に参加されている。男の料理教室についても、再開することができ、地域住民の活動の場として活用していただいている。今後も地域交流ルームを開放し、上記以外の活動でも積極的に利用していただき、地域住民との絆づくりに繋げていきたい。

また、ほおっちょけん相談窓口においても、引き続き地域住民等の相談窓口として支援を行っていく。

- (3) 稼働率向上に関する取り組みについて

稼働率を向上させるための取り組みとして、特に市内の医療機関への営業活動を強化してきた。令和5年度の新規利用者10名の内訳は、居宅支援事業所1件、地域包括支援センター1件、老人保健施設2件、医療機関6件となっている。令和6年度も営業活動を継続して外部機関とのネットワーク作りに努め、稼働率の向上に繋げていく。また、高齢者がいつまでも住み慣れた場所で自立した生活が送れるよう柔軟なサービス提供を行うなど、地域に根差した事業所となるよう努める。

- (4) 重度化対策及び在宅での看取り支援に関する取り組みについて

令和5年度の平均介護度は2.7で、令和4年度とほとんど変化なく経過している。利用者の重度化を防止するための対策として、事業所内においては、看護師を中心として生活リハビリや運動器具を使用した筋力アップ訓練を実施した。また、地域性も視野に入れた重度化への取り組みとして、医療行為や訪問系医療サービスを導入し、重度者への対応を行った。

看取りについて、令和5年度も看取りを希望する方はいなかったため、自宅での看取りや事業所での看取りは行っていないが、今後希望者がいれば前向きに対応していきたい。

- (5) 認知症ケアへの取り組みについて

認知症ケアの原点である「その人らしい生活」を継続するため、利用者の能力に応じた個別レク(塗り絵、創作)や家事活動などの取り組みを行った。また、独居の方に対しては、インフォーマルな支援の提案や提供を通じて、本人・家族が安心して生活できるように取り組んだ。

令和5年度は、認知症介護実践研修などへの参加ができていないため、令和6年度は積極的に受講し職員のスキルアップに繋げていく。

サービス内容

(1) 通いサービス

重度化しても利用者それぞれの希望に沿った利用回数や滞在時間を実現し、機能訓練や生活リハビリに重点を置いた支援を行うことで、介護保険の本来の目的である在宅生活の継続につながった。ただし、年度末頃にかけて通いサービスの利用希望が多くなることもあり、定員制限により希望通りに利用できないこともあったため、細かなサービス調整を行い、できる限りニーズに答えるように取り組んでいく。

(2) 泊まりサービス

自宅で過ごしている時のように、一人ひとりに合った環境を整え、就寝、起床時間についても時間を決めず不安なく過ごしてもらえるように支援した。泊りの利用者数としては、令和4年度に比べて増加している。

(3) 訪問サービス

通い、宿泊サービスを利用していない日には、独居の方の日常生活全般の支援や受診介助、買い物同行支援など幅広くサービスを提供し、生きがいや喜びを感じていただけるよう努めた。また、緊急時にも迅速に訪問対応を行うことができ、利用者・家族の安心に繋がるサービス提供ができた。

令和5年度加算取得一覧表

小規模多機能型居宅介護 サイト

加算項目	単位	実人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
看護職員配置 加算Ⅰ	900 /月	242	81%	2,700,000	2,178,000	△ 522,000
総合マネジメ ント加算	1,000 /月	242	81%	3,000,000	2,420,000	△ 580,000
訪問体制強化 加算	1,000 /月	242	81%	3,000,000	2,420,000	△ 580,000
サービス 提供体制Ⅰ	750 /月	242	81%	2,250,000	1,815,000	△ 435,000
科学的介護 加算	40 /月	242	81%	120,000	96,800	△ 23,200
認知症加算Ⅰ	800 /月	89	} ※2		712,000	
認知症加算Ⅱ	500 /月	10			50,000	
初期加算	30 /日	441			132,300	
				11,070,000	9,824,100	△ 2,140,200

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【年齢構成】（介護予防含）

（令和6年3月31日）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	計	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男				1		1	2		4	87歳	77歳	94歳
女			1	2	5	3	6		17	85歳	74歳	94歳
計	0	0	1	3	5	4	8	0	21	85歳		

【行事实績】

実施年月	行事名	内容	
令和5年	6月	あじさい見物とドライブ(6/7)(6/16)	野市あじさい街道・土佐市親水公園
	7月	七夕(7/7)	七夕ゲーム等を実施し季節を味わってもらう。
	8月	夏祭り(8/4～8/5)	装飾及び催し、食事を通して
			夏祭りの雰囲気を感じてもらう。
	9月	敬老会(9/14)	催しやクイズ等を行いお祝いをする。
	10月	コスモス見物とドライブ(10/13)	越知の宮の前公園に出かける
		ハロウィン喫茶(10/31)	仮装しておやつに喫茶メニューを楽しむ
	11月	みかん狩り(11/21)	弁当持参して香北町山北にみかん狩りに行く
12月	クリスマス会(12/22)	催しやプレゼント、食事等を楽しむ	
令和6年	1月	鉄板焼き(1/22)	昼食時に実演しながら食事を楽しむ
	2月	節分(2/2)	豆まき
	3月	ひな祭り(3/8)	ケーキバイキング

7. デイサービスセンター サイタ（通所介護 / 第1号通所事業）

重点目標

(1) 目標稼働率 96% ⇒ 実績 85.2%

入院、施設入所による利用中止や新型コロナウイルス感染予防のための利用控えが相次いだことと、デイサービスを利用しながらショートステイを併用する方が増加したことなどにより、稼働率が伸び悩み、目標を達成することができなかった。しかし、令和5年7月から個別機能訓練加算を算定したことによって収入が上がり、当初予算額は上回るすることができた。

(2) 人材育成に関する取り組みについて

新人育成マニュアルに沿って、指導をすることを徹底し、指導者、新人双方が安心してスキルアップを図ることができた。対人援助については状況や場面に応じて適切な言葉掛けを行う必要があるため、必要な研修については積極的な参加を促し、職員のコミュニケーション能力や接遇マナーの向上に努めた。

また、職員個々のレベルに合わせた知識・技術の向上とスキルアップを図るため、生活相談員が中心となり日頃の業務を通じてその都度指導を展開した。

全職員に対して、研修の重要性を十分に理解してもらい、前年度に比べると内外研修への積極的な参加を促すことができた。

(3) 稼働率向上に関する取り組みについて

見学者に対しては積極的に受け入れ、事業所の特徴等、丁寧な説明を行い、サービス利用へつながるよう努めることができた。また、体験利用者にはデイでの過ごし方や情報がわかるもの、広報誌等を別途用意するとともに食事の内容やご本人の過ごしている様子を写真に撮らせていただき、お渡しすることで、利用の促しができている。新規獲得のための営業活動や居宅との連携を密に行うことで信頼感を得ることと、家族やケアマネからの多様なニーズにできる限り答えることで稼働率の向上に繋げている。

(4) 認知症に関する取り組みについて

認知症がある利用者に対して適切なケアを実施するため、外部研修等を通じて職員全体の知識や介護力の向上を図り、それぞれの症状に応じた認知症ケアの取り組みを行うことができた。また、自宅でもできる方法として、統一ケアセミナーの動画視聴を事業所として進め、認知症の理解や、対応方法等を学ぶ機会を作ることで学ぶ時間の確保もできている。

(5) 機能訓練に関する取り組みについて

個別機能訓練計画に基づいて、機能訓練指導員が身体機能及び生活機能の維持・向上を目的とする機能訓練を行っている。加算取得をすることで、今まで以上に機能訓練指導員が利用者に関わり楽しみを持ちながら体を動かす機会が増えている。ケアマネからの認知も進んでいることから、機能的な維持向上目的の利用者も獲得できている。

(6) 災害時等に関する取り組みについて

BCPマニュアルの周知と研修を通して、災害時の行動について考える時間を作っている。また、連絡手段の確保として震度4以上の地震の際には公式ラインアカウントを使用した連絡を行うこととし、全職員に周知、登録を促している。

新型コロナウイルス等の感染症については、デイでのクラスターも経験し、柔軟な対応と蔓延防止の難しさを改めて認識した。感染を防ぐために必要物品の補充はもちろん、標準予防策や手指消毒について改めて確認が必要な場面が多くあったため、今度の課題として対応を続けていく。

サービス内容

(1) 食事

利用者の栄養状態や身体状況、嗜好を考慮した食事を提供することを前提に、行事等趣向を凝らした食事の提供ができた。配膳の方法を再度検討し、方法を変えて対応をしているので、厨房との連携が必要不可欠になっている。

(2) 入浴

自宅において入浴が困難な利用者の清潔を保持するため、必要に応じて入浴支援を行った。季節ごとに飾り付けや入浴剤等で変化を持たせ、入浴の時間を少しでも楽しんでもらえるように対応している。

(3) 排泄

排泄の自立を促すため、利用者個々の排泄パターンに合わせたトイレ誘導ができています。家族と連携して排泄状況の確認や排便のコントロールを行い、適宜看護師による処置も含めて対応ができています。

(4) 機能訓練

日常生活を送るのに必要な身体機能等の減退を防止するため、機能訓練指導員が個別の機能訓練計画を作成し、5人程度以下の小集団又は個別に生活リハビリや運動等の訓練を行っている。

(5) 健康状態の確認

利用時においては、送迎時には対応職員が、施設入館後には看護職員が健康状態の確認を行った。バイタルチェックや体力測定等により健康管理を行い、体調不良がみられた場合は医療機関と連携して対応することができた。

新型コロナウイルス等の感染症に対しては、体温、風邪症状等などの基本的な留意事項を確認しながら、感染予防に努めた。5類移行後は感染状況をみながら対応方法を検討し、必要に応じて各家庭へ連絡したり、手紙を配布したりするなどの対応を行った。食堂ホールでは次亜機能水を使用しての加湿や消毒を継続している。

(6) 送迎サービス

家庭の事情や心身の状態等により送迎を希望する利用者については、できる限り時間や配車の都合をつけて対応した。

令和5年度加算取得一覧表

デイサービスセンター サイト

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
サービス提供 体制加算 I	22	608	5,994	78%	1,694,000	1,318,680	△ 375,320
個別機能訓練 加算 I 1	56	453	4,452	77%	3,234,000	2,493,120	△ 740,880
個別機能訓練 加算 II	20	453	453	93%	97,500	90,600	△ 6,900
入浴加算	40	517	4,748	※2		1,899,200	
科学的介護 加算	40	608	608			243,200	
送迎減算	△ 47	136	843			△ 396,210	
					5,025,500	5,648,590	△ 1,123,100

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

(日曜日、年末年始は閉所のため、開所日の308日で計算している。25名定員)

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【年齢構成】（介護予防含）

（令和6年3月31日）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	計	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男			1	2	2	5	1		11	84歳	73歳	93歳
女			2	4	11	16	19	7	59	88歳	72歳	101歳
計	0	0	3	6	13	21	20	7	70	87歳		

【行事実績】

実施年月	行事名	内容	
令和5年	4月	テーブルゲーム	サイコロゲーム
		体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作(しだれ桜と金魚)
	5月	制作レク	壁画制作(こいのぼりと藤の花)
		園芸レク	実施せず
		体力測定	月1回実施
	6月	テーブルゲーム	都道府県クイズ、ことわざクイズ
		体力測定	月1回実施
		制作レク	制作(あじさい寺)
	7月	体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作(海・砂浜・ハイビスカス)
		テーブルゲーム	イラストゲーム、ジェスチャーゲーム
		夏祭り	輪投げ、ヨーヨー釣り
	8月	体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作(ひまわり)
		ミュージックケア	音楽に合わせた体操
		テーブルゲーム	ことわざゲーム、一文字変えようゲーム
	9月	体力測定	月1回実施
		敬老会	職員余興等
		制作レク	壁画制作(カカシ・稲)
テーブルゲーム		色連想ゲーム、物覚えゲーム	
10月	テーブルゲーム	土佐弁クイズ、サイコロゲーム	
	体力測定	月1回実施	
	壁画制作	壁画制作(ハロウィン)	
	秋の歌集レク	歌を皆さんで歌う	

令和5年	11月	テーブルゲーム	言葉当てクイズ、ことわざクイズ
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作(鯉、鹿、紅葉)
		持ち帰りレク	実施せず
	12月	冬の歌集レク	歌
		制作レク	クリスマスカード作り
		体力測定	月1回実施
		クリスマス会	サンタの衣装でプレゼント配り
		壁画制作	壁画制作(クリスマスツリー)
令和6年	1月	お正月クイズ	正月にちなんだクイズ
		初釜	葛湯と和菓子
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作(獅子舞と凧揚げ)
	2月	節分	節分カゴ競争
		ミュージックケア	音楽に合わせた体操
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作(辰と牡丹)
	3月	春の歌集レク	歌を皆さんで歌う
		体力測定	月1回実施
		テーブルゲーム	色の連想ゲーム、ことわざクイズ
		制作レク	壁画制作(はなさかじいさん)

【デイサービスセンターサイト利用者構成表】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均		
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	
介護支援1				1														1	1	2	7	2	8	2	7	8	26
介護支援2	5	33	5	32	5	29	5	35	7	42	7	54	7	50	7	57	7	54	7	51	7	49	7	48	76	534	
介護予防	5	33	5	32	5	29	6	38	7	42	7	54	7	50	7	57	8	55	9	58	9	57	9	55	84	560	
平均要支援度	2.0		2.0		2.0		1.9		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		1.9		1.9		1.9		2.0		

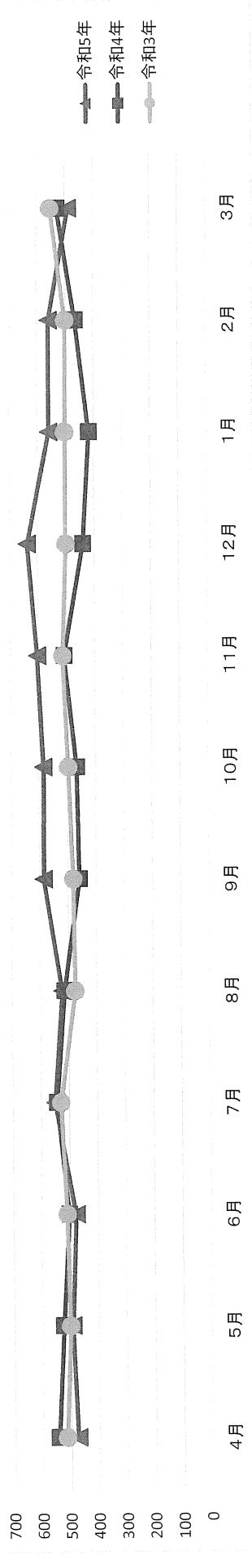
介護保険	要介護1	22	181	20	198	21	167	19	169	19	162	19	183	20	194	21	195	23	224	25	213	24	219	23	182	256	2,287
	要介護2	13	149	13	159	15	157	17	186	17	176	17	205	17	191	16	190	17	192	17	171	15	182	16	167	190	2,125
	要介護3	8	81	9	69	9	46	8	79	10	93	10	101	11	102	11	119	11	125	9	95	8	77	7	63	111	1,050
	要介護4	2	17	3	22	4	44	4	45	3	22	2	12	1	11	1	11	1	13	1	11	1	9	1	8	24	225
	要介護5	1	14	1	12	2	35	2	33	2	27	2	31	3	36	3	32	3	29	2	12	2	16	2	14	25	291
	合計	46	442	46	460	51	449	50	512	51	480	50	532	52	534	52	547	55	583	54	502	50	503	49	434	606	5,978
	平均要介護度	1.9		1.9		2.2		2.2		2.1		2.1		2.1		2.1		2.0		1.9		1.8		1.9		2.0	

その他(総合事業含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

利用者計	51	475	51	492	56	478	56	550	58	522	57	586	59	584	59	604	63	638	63	560	59	560	58	489	690	6,538
------	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-------

事業日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26	24	24	25	24	24	308
1日平均利用者数	19.0	18.2	18.4	21.2	19.3	19.3	22.5	22.5	22.5	23.2	23.2	24.5	24.5	23.3	23.3	24.5	24.5	24.5	24.5	23.3	22.4	22.4	20.4	20.4	21.2
稼働率	76.0%	72.9%	73.5%	84.6%	77.3%	77.3%	90.2%	90.2%	89.8%	92.9%	92.9%	98.2%	98.2%	93.3%	93.3%	98.2%	98.2%	98.2%	98.2%	93.3%	89.6%	89.6%	81.5%	81.5%	84.9%

デイサービス サイト利用者 延人数推移



8. ショートステイセンター サイト

(基準該当短期入所生活介護 / 基準該当介護予防短期入所生活介護)

重点目標

(1) 目標稼働率 98% ⇒ 実績 101.6%

利用依頼が多くあり、目標稼働率を大きく上回ることができた。収入についても、平均介護度の上昇もあって当初予算額から大幅に増収となった。

(2) 稼働率向上に関する取り組みについて

新規利用者の発掘のため、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等の関係機関との連携を図り、相談や依頼を受けやすいネットワーク作りに努めている。また、新規獲得のための営業活動や居宅との連携を密に行うことで信頼感を得ることと、家族やケアマネからの多様なニーズにできる限り答えることで稼働率の向上を図っている。

急なキャンセルへの対応として、日頃からキャンセル時の連絡体制を整えておくことと、ケアマネ、家族のニーズを把握することを心掛けている。また、特養とも連携を取り、他事業所への流出を防ぐようにしている。

(3) 認知症に関する取り組みについて

認知症がある利用者に対して適切なケアを実施するため、外部研修等を通じて職員全体の知識や介護力の向上を図り、それぞれの症状に応じた認知症ケアの取り組みを行うことができた。また、自宅でもできる方法として、統一ケアセミナーの動画視聴を事業所として進め、認知症の理解や、対応方法等を学ぶ機会を作ることで学ぶ時間の確保もできている。

その他、個々の認知症状に応じてグループ分けを行うなど、状態に応じた環境を整えて症状の改善や安定を図り、利用者が在宅で落ち着いた生活が送れるよう支援していく。しっかり時間をかけて対応することで、宿泊への不安感の軽減に努めることができている。

(4) 災害時等に関する取り組みについて

BCPマニュアルの周知と研修を通して、災害時の行動について考える時間を作っている。また、連絡手段の確保として震度4以上の地震の際には公式ラインアカウントを使用した連絡を行うこととし、全職員に周知、登録を促している。

新型コロナウイルス等の感染症については、感染を防ぐために必要物品の補充はもちろん、標準予防策や手指消毒について改めて確認が必要な場面が多くあったため、今後の課題として対応を続けていく。

サービス内容

(1) 食事

利用者の栄養状態や身体状況、嗜好を考慮した食事を提供することを前提に、行事等趣向を凝らした食事の提供ができた。配膳の方法を再度検討し、方法を変えて対応をしているので、厨房との連携が必要不可欠になっている。

(2) 入浴

自宅において入浴が困難な利用者の清潔を保持するため、必要に応じて入浴支援を行った。季節ごとに飾り付けや入浴剤等で変化を持たせ、入浴の時間を少しでも楽しんでもらえるように対応している。

(3) 排泄

排泄の自立を促すため、利用者個々の排泄パターンに合わせたトイレ誘導ができています。家族と連携して排泄状況の確認や排便のコントロールを行い、適宜看護師による処置も含めて対応ができています。

(4) 機能訓練

いきいき百歳体操、リズム体操、歩行訓練等の集団プログラムや、個々の心身状態、生活動作に応じた機能訓練を実施している。デイのプログラムに参加できることへのメリットが好評で、ショート稼働率向上の中核となっている。

(5) 健康状態の確認

利用時においては、送迎時には対応職員が、施設入館後には看護職員が健康状態の確認を行った。バイタルチェックや体力測定等により健康管理を行い、体調不良がみられた場合は医療機関と連携して対応することができた。

新型コロナウイルス等の感染症に対しては、体温、風邪症状などの基本的な留意事項を確認しながら、感染予防に努めた。5類移行後は感染状況をみながら対応方法を検討し、必要に応じて各家庭へ連絡したり、手紙を配布したりするなどの対応を行った。食堂ホールでは次亜機能水を使用している加湿や消毒を継続している。

(6) 送迎サービス

家庭の事情や心身の状態等により送迎を希望する利用者については、できる限り時間や配車の都合をつけて対応した。

令和5年度加算取得一覧表

ショートステイセンター サイト

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
サービス提供 体制加算Ⅱ	18	379	2,229	102%	394,200	401,220	7,020
送迎加算	184	360	1,032	※2		1,898,880	
緊急受入 加算	90	4	15	※2		13,500	
					394,200	2,313,600	7,020

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【ショーステイセンターサイト利用者構成表】

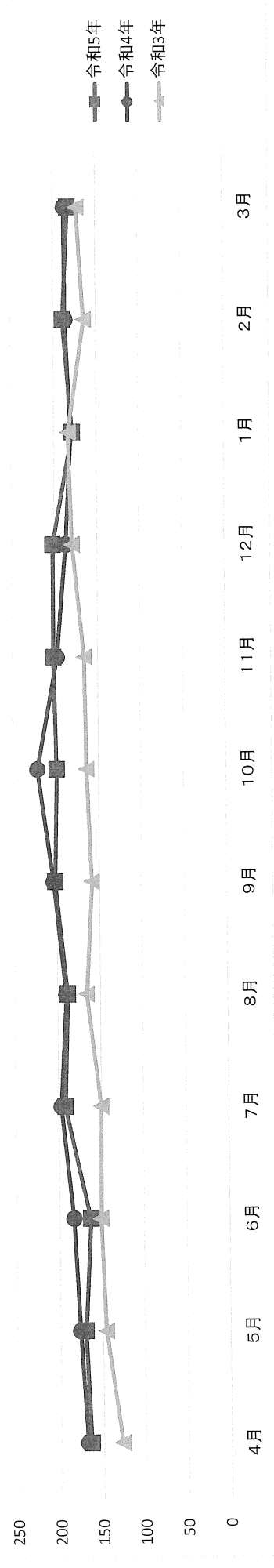
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均			
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数		
介護																												
要介護1																												
要介護2														1	3													
予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
平均要支援度	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	1.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0

介護	10	52	15	77	11	65	11	71	10	62	10	55	10	59	9	67	9	55	9	59	11	66	11	50	126	738
要介護1	7	40	5	32	6	38	12	56	9	53	11	66	11	64	10	65	9	58	10	47	9	46	10	47	109	612
要介護2	7	50	5	38	4	19	6	31	5	45	7	52	7	49	8	46	9	56	8	43	8	46	9	62	83	537
要介護3	2	18	3	19	4	29	4	20	5	22	3	19	2	14	2	13	2	17	4	17	2	21	2	14	35	223
要介護4	1	4	1	4	2	12	2	14	2	6	3	10	3	10	3	11	3	16	2	12	2	10	2	10	26	119
要介護5	27	164	29	170	27	163	35	192	31	188	34	202	34	196	32	202	32	202	33	178	32	189	34	183	379	2,229
合計	2.3		2.1		2.3		2.2		2.2		2.3		2.2	2.2		2.2		2.4		2.3		2.3		2.4		2.3
平均要介護度																										

利用者計	27	164	29	170	27	163	35	192	31	188	34	202	34	199	32	202	32	202	33	178	32	189	34	183	380	2,232
------	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-------

事業日数	30		31		30		31		31		30		31		30		31		31		29		31		366
1日平均利用者数	5.5		5.5		5.4		6.2		6.1		6.7		6.4		6.7		6.5		5.7		6.5		5.9		6.1
満床率	91.1%		91.4%		90.6%		103.2%		101.1%		112.2%		107.0%		112.2%		108.6%		95.7%		108.6%		98.4%		101.6%

ショーステイ サイト 利用者 延人数推移



10. ほおっちょけん相談窓口

重点目標

(1) ほおっちょけん相談窓口の活性化について

地域貢献事業として平成29年7月より困りごと相談室を開設していたが、高知市が運営するほおっちょけん相談窓口と趣旨や取り組み内容が一致することから、令和4年11月より法人内にほおっちょけん相談窓口を設置（困りごと相談室は廃止）し、困りごと相談室の業務をほおっちょけん相談窓口に移管した。受付担当者についても、困りごと相談員3名が引き続き対応していくこととした。

令和4年度からは、2ヶ月に1回の頻度で困りごと相談員会を開催し、相談の有無や、相談内容、取り組み状況等について確認するとともに、必要な協議を行っている。

令和5年度の相談は2件あった。その内訳は、地域住民からの相談が1件、以前特養に入所されていた方の親族からの相談が1件である。